

武教全書口訣

戰法

廿七

蕪湖圖書館	
部門	七乙一
番號	六
冊數	二八





武教全書

戰法

是金戰ヲテスノ浴ノ前ノ客戰ヲリ以  
 下何れモ戰ノ道ヲ論ズルモノナラズ  
 一ノハ皆夫々ニ應ル戰ヲヘキ其大様  
 一ノ教ハ亦全勝ノ術ハ謂ハズ其ノ  
 一ノ於テ合戰ヲテ大ニ勝ヲ得ルノ  
 一ノ中理ヲ説クニ改テ是ヲ戰法ト云也

三戰之事

山



武教全書口訣

戰法



是全戰ヲ十又ノ法ニ前ノ容戰ヨリ以  
 下何レモ戰ノ道ヲ論メ之ヲ作ヘトモ  
 且レハ皆夫々ニ應ル戰ヲ入キ其大様  
 和ヲ教ヘテ全勝ノ術ハ謂フコトノ篇ニ至  
 一 夫テハ拮据合戰ヲ十又全ク勝ヲ得ルノ  
 事理ヲ説故ニ改テ是ヲ戰法ト云也

○三 戰止事



三 先後横ノ三ノ一切ノ合戦ノ心持コノ  
三ノ外ニコレ無

一 先ヲ取ル事

味方備ヨクシテ敵ノ立ヲ見テ是ヲ討ヘシ

備ヲヨクスルハ我備立ヲ全クスルニ

本ニ論スレハ常ニ兵法ヲ修練シ弓矢

之道ヲ正クシ作法ヲ詳ニシ能調ヘ事

障ニノソシテ滞ル事ナキ如スルニカク

兵法今チ敵ヲ立ル處其起ル處ヲ討ニ是先

ヲ取全勝ノ理左ノ如シ

兵法曰先勝而後戰

先勝ハ右ノ通常ニ士卒ヲ練武備ヲ全

クシ能スルニ五事ヲ以テ内ヲ治テ計ヲ

以テ彼我ヲ知戦ナル先ニ我ニ勝ル理ヲ

以テ居テ敵ノ起ルニ應テ戦ヲナスニ是

ニ常ニ備ヲ能スルノ理ヲ云次ノ又早

ノ語ハ既ニ戦ヲナスノ理ヲ云

又曰先處戰地待敵者佚



又、戦ヲ下ニテ予勝利ノ有ヘキ地敵ノ場處  
ハ敵ノ出テ先ニ我早ク陣取テ備テ  
立テ敵ノ来ルヲ待テ候ハ安佚ニテ骨  
折苦勞ナキ意ハ地ノ利ヲ我ニ得味方  
ノ勞ナク休メ惣々ト支度ヲシ萬事ノ  
手遣ヒ能クハノ仁テ敵ヲ待テハ左  
スレハ敵ノ様子ヲモ能見討ヘキ圖ヲ  
共テツテ我思ハ設ケル圖ハ敵ヲ引付  
心ヲ倦テハ力ヲワルハ是則先ヲ取

一 後ノ勝ノ事  
道理ナリ  
敵強ク堅クハ二三ヨリ是ニ可勝事  
強敵ニテ堅固ナル寸我先ヲ取テ之  
ハモ一二テ勝レズ其敗ハ先手一ノ備ニ  
共テ敵ヲ押入戦テ二三ヨリ是ニ勝テ二  
三ノ備ヲ以テ全ク勝テ之ハ是ヲ後ノ  
勝ト云前ノ先ノ勝トハ理ノ勝ニ是ハ  
口サノ勝ニ一ニテ勝テ之ハ敵ノ疲



レタル處ヲニヲ以全ク勝レ畢竟一ニ  
テ勝レズニテ勝早マテス急カズ勝  
ハキ此ニテ勝レ  
兵恣曰後人而先人也以正合以奇勝致於  
人也

後人而先人右ノ如敵強ノ先勝ナラズ  
是人ニヨリルニ之取三一二テ押二三  
テ人、勝ヲ以テ勝是後レテ又人ニ先夕ツ  
此以正合以奇勝一ヲ以敵ト相手組

押キル是以正合也二三ヨリ具不意ヲ  
討全ク勝是以奇勝也カク勝ヲ得ハ致  
人キハ人トハ敵ニ致スハ人ノ勞ヲ  
イタス敵ヲツカラズニ  
一 横ヲ用ル事

向フテ又横ヲ用ル事  
横ニ大小アリハ備ニカ、ル右ノニ  
三ヨリ勝ノ意ハ此般ハ大横ニ向フテ  
又横ヲ用ル敵ノ備堅固ナル事味方



又ソ能備テ敵ニ怠リ生シ不意虚ノ出  
来ル如スヘシ是ヲ横ヲ用ルト云ニ  
兵訟曰敵人強盛未必取須常早詞厚禮以  
驕其志候其勢可棄一挙破之

敵強ク勢ニ盛ニニテ勝ニクキオハホ  
必取マソ彼ト和平ノ常ニ詞ヲ下ケ謙  
リテ禮義ヲ篤ク致メ彼我ヲ侮リ奢リ  
ハ心生ル如スヘシ其志奢ルテハ必怠  
リアルニ其奢リ怠リノニマスキ間ヲ

ウカハニテ其由断ル也其衆ヲ兵天揚

六. 競ニニ討破ルハ左スレ共必全ク

勝ヲ取ル

○五 戰之事

是三戰ノ小割ニ業ニシル也

陰戰

待備ニニテ懸リ来ラサハ陰ノ敵ト云

懸テスニテ不叶敗ハ陽中陰ノ格ヲ可用

事ニ線懸ルハ鋒矢ニ一向ニ衰者ニ



敵 陽ノ 儻ヲ 張テ 此方ノ 懸リ 来ラヌ 待  
請テ 居ル 是ヲ 陽ノ 敵ト云コレト 戦ヲ  
トスヲ 陽戦ト云ニ 此 陽戦ハ 容易ニ  
ハカ、ラヌモ、ノ 左レハ 我ヨリ 懸テ  
テ 叶ハヌ又寸ハ 我 陽中 陽ノ 格ヲ 用テ 討  
五ノ 陽ノ 力、ル 内ニ 陽ノ 待心ヲ 兼含  
ニテ 戦ヲ 陽中 陽ト云ニ 敵待テ 来ラヌ  
故 我ヨリ 懸テ 敵ヲ 働テ 討ニ 其力、ル  
此ハ 陽ニ 敵ヲ 働テ 我ヲ 静カニ 討取ル

陽ノ 具 繰リ 懸ハ 一 儻ハ 一 儻  
此ニ 敵ヲ 押テ 鋒矢ハ 一 儻ノ 敵ニ 向  
テ 戦ヲ 始 敵ノ 儻動ク 此ヲ 二 儻ヲ 以 旗  
本ヲ 討破ル 一 向ニ 裏ハ 一 儻進ニ テ 敵  
二 向ニ 二 儻ノ 裏ハ 廻リサニ 儻サ  
テ 討ニ 練陣篇ニ 云カ 如

一 陽戦

敵ヨリ 懸リ 来ルヲ 陽ノ 敵ト云 能 静カニ  
シテ 懸リ 来ル 敵乱ル、ヲ 待テ 可 撃



五月 来ルヲ待備

敵ヨリ進ミカ、リ来ヲ阻敵ト云是ト

戦ヲ阻敵ト云ハ四方ハ阻ニ備テ能静

カニメ来ル敵ヲ引包ミテ其乱ルヲ

討トルハシ其滞五月来ルヲ待備ハ霍

翼五ノ陣等々練陣篇ニ委シ

一 對戰

間ヲ隔テ數日相對スルヲ對陣ト云是又

陽中陰ノ格ヲ用ユヘキハ左右ニ衝

廻シ備 敵ヲ来ス

左右ニ衝クハ互ニ守リ對メ動カサル

寸ハ一ヲ以敵ヲ押ヘ二三ノ滞ヲ以左

右ハ衝クハ敵駭テ動ク也ヲ討ム大ニ

云寸ハ其翼々ノ國ヲ討ノ類々廻シ備

ハ別軍ヲ以敵ノ後ハ廻スニ大ニ云ハ

ハ敵ノ本國ヲ討ノ類々敵ヲ来スハ手

段ヲナシテ敵ヨリカ、リ来ヲテ所ハ

端ナシ如スルハ



一 敵利ニ乗メ時方ヲ討事アリ是ヲ感フニ  
ハ 陰陽ノ備三才ノ陣對皇ノ格三段三處  
ノ道理ヲ以ニノ勝ヲナスヘキ事

練陣篇ヲ合セ考ヘシ

一 利ニ乗メ敵ヲ討ニ敵ニ二三ノ滞アル時

ハ 敵物見ノ滞ヲ用ニ輕ク歩輕ク止ルハ

キ事

敵ニ二三ノ滞アル時ハ是ヲ以テ我陣亂レ

タル處ヲ討テ二三ノ勝ヲ心懸ルモノ心

厄レハ我陣タリテ動カス敵見物必堅

固設我ヲ堅固我ノ行兵ヲ輕落我勝ヲ

全クスルニ我陣置テハ我陣置テハ我陣置

○ニノ勝心得武功我陣置テハ我陣置テハ我陣置

テハ我陣置テハ我陣置テハ我陣置テハ我陣置

一 前箭猶深後箭輕前箭猶輕後箭深ニ我陣置

前箭猶深後箭輕前箭猶輕後箭深ニ我陣置

テハ我陣置テハ我陣置テハ我陣置テハ我陣置

初ニ事ヲナサズ万以大事ニ全備



心得ニスルハ是ヲ深シト云フ之後ハ箭ヲ引キ  
キハ右ノ通先手ニテ敵ヲ押入テ具探  
子ニヨリテ奇ト成正トナリテ備テ全ク  
勝ヲトスノ心得ニ是ヲ引キト云フ之前ハ箭  
猶輕トハ右ノ如先手ハ深クスル事算  
一ニサレテ又引ニ依テ敵ヲ、ヒキ付  
ルカ或ハ敵強盛ナル引キ引取ノ  
類ノ事ニ是又引キノ理ニ後箭深シハ  
右ノ如先手節ハ二牛ハ備テ全ク引キ敵ヲ

○ 引請

引請テ勝ヲトスルハ如スル事要ニ故ニ又

一 二陰陽ノ事ハ如スル事要ニ故ニ又

一 一陰陽トシテ二ヲ陽トシテ備ルニ是ヲ一

一 一陰陽トシテ練陣ニ云フカ如此ニ二ノ備

一 一能スル事要ニ如スル事要ニ故ニ又

一 横鎗入塩ノ事ハ豎横心得ノ事ト同シ

一 横鎗ヲ以テ全ク勝ヲトス其入塩ハ彼我

一 戦ミタルハ如先手ハ入ルハ豎横ハ先



一 入ル、ヤ 堅トイ、二三 望俾へ入  
此ヲ横ト云心得ハ先手へ入テハ其詮  
十キモノ之ニ三ノ備へ入へシ

一 鯨波ノ事

関ハ士卒ノ英氣ヲ養ヒ勢ノ出来ル背  
之故ニ先手色ノリ或ハ入乱テ勝負  
決シ難キ此ノ手ヨリ関ヲ揚英氣ヲ  
引ケマシテ勝ヲ取へシ

○戦法前得之事

一 総テ戦ヲオス仕方ノ心得ニ此段ハ款  
ニハカマハス味方ノ上へカケテ云リ  
一 入格 離格ハ合格事  
一 入格ハ常々武ヲ講シ士卒ヲ一和セシ  
シノ戦術ヲ習ハシ能修襲セシノ置ヲ云  
離格ハ既ニ戦フニ致リテハ其取ノ要  
ニ應ノ必可勝圖アルハ常ナラシ置也  
ノ格ヲ引違へテ戦フニ是ヲ格ヲ離ル  
ト云ハ離格合格ハ右ノ通見込アル



寸ハ定格ヲ離シ應變ヲ戰フ寸ハ常講  
習ハ格ニ入置故ニ應變ノ全ク勝利ヲ  
得ルは一ニ帰スルノ道理ニテ又格ニ  
合フニ此心得常ニテ要ニ  
一 備ヲ惜ム事ハ懸待表裏ノ事  
合戦ヲ十スニ足輕合ノ内ハ長柄ハ戰  
ハス長柄戰ノ内ハ武者ハ不戰長工ノ  
也リ合終テ武者戰ヲ十ス如キ心得ニ  
スハキク是ヲ備ヲ、ニハト云然ラズ

之ヲ一ニ同合戦ノ寸ハ備混乱シ士卒一  
同ニ以力ニテ不宣ニ懸待表裏ハ前後  
左右ノ備ノ付心何レハ備ニ皆非シハ  
一 心得ニスハキク  
一 追留ヲ定勝ヲ殘ス事  
追討ヲ十スニ必追留ヲ定テ味方ニ先  
ヲ殘シ置テトシトハ必討取ラル  
融ニテモ追留ヲ越スト捨テ引下ル  
然ラズシテ勝ニ入リテ長追ヲ十ス取



然備混乱ノ方一敵取テ返テカ或ハ伏  
類ヲルシテ却テ追崩サレ後ノ勝ヲ  
取テ叶ハス敗軍ニ及テモハ之敵ニ追  
留テ定テ勝ヲ味方ニ残置心得ルニ事

一 淳氣沉氣ノ事 付 滯色ノ事

淳亮ト云ハ倫鳴リワタリ鎗昇混乱ノ  
以キ立テ見テルヲ云 沉氣ト云ハ下卒  
ノ氣壓高鎗先上リテ戦ヲ入体持キ

ヲ云 備色ト云石ノ浮沈ノニ氣ハ倫ニ  
顯レテ心見ユル者ト云ハ能ク考知テ  
我備此氣アラハルニ寸ハ能守リ戒ノ  
士卒ヲ休メ英氣ヲ養ヒ立ル心得ニス  
ハシ

一 キヲヒヲクレノ事

士卒一知勇氣盛ニニノ戦ヲコノムヲ  
キヲウト云ヲクルハ其表ニ敵ヲ見  
テ勇マヌ後ヲ返リ見テ戦ヲ入氣無



又之ヲ人然又考へ察之其士卒競ヲ取  
分戰ニヲクハ、取ハ戰ヲ其守リ  
戒キヲヒノ付如スヘシ

一 見崩聞崩友崩裏崩ノ事

敵ノ陣ヲ見テ未戰ハスル先ニ崩ル、  
ヲ見崩ト云先手ノ戰ノ噂ヲ聞テ崩ル  
ヲ軍崩ト云先手崩ル、寸諸手友押ニ  
スル、ヲ友崩ト云色々ノ風説ヲ軍  
ヲ疑惑起リ後陣ヲ崩ル、ヲ裏崩ト

テウコノ見崩ハ旌旗ノ恣不正ニ入  
聞崩ハ金鼓ノ物トキ力故ニ友崩ハ陣  
恣不善故ニ裏崩ハ下知通達セリ故  
ニ然レハ能ク作恣ヲ正ノ少ノ相違ニ  
トキ様ニス入キ事力ニ零ニ

○奇正之事

戰恣全ク勝ヲトル処ハ此奇正虚實ノ

四ニアリ

一 正ヲ以合奇ヲ以勝進ニ向ヲ正トニ退キ



一 三ノ此ヲ奇トス一 術ヲ正トシテ不術ヲ奇  
トス主ノ命ヲ受ル處ヲ正トシ將ノ自ラ  
致ス處ヲ奇トス敵我備ヲ正トリトセハ  
奇ヲ以テ敵我備ヲ奇也トセハ正ヲ以テ  
奇正ハ敵ニアリ正ヲ教テ奇ヲ教スト云  
以正合以奇勝ト正ハ正兵ニ正道ノ軍  
ニテ場也ヲ定日ヲ定法ノ如備ヲ正  
鎗ヲ始勝負ヲ決スルヲ云奇ハ奇兵ニ  
奇愛ノ義ニテ種々ニ變化メ敵ノ不意

ヲ折ヲスヘテ奇兵ト云之奇ヲ以勝ハ  
名ニテ合戦ハ正兵ヲ以敵ト相手組奇  
兵ヲ以勝ヲトル是太公ニ千變万化ニ  
ミテ此此外ニハ出スサレハスヘテ合戦  
ノ任方奇正ヲ誰ル、了ハナキニ具奇  
正トハ進ミ向フヲ正トシ退キニソル  
ヲ奇トス右ノ通我備ヲ正ニシ、千ニ  
進ミ向テ敵ト相手組ヲ力ケル是ヲ奇  
ト云之又イハ、一術ヲ正トシ一術ヲ



奇トス術ハ道ニ我敵ヨリ多勢ナレハ  
俾ヲ分テ一手ハ右ニ云如ク敵ト相テ  
組或ノ捨テ置了ノナラ又場處へ取懸  
テ敵ニ人数ヲ分テスルノ類是正ニ一  
手ハ或ハ横ヨリ折後口へ廻リ或ハ馬  
ヲ入伏兵トナリスへテ敵ニヨリテ愛  
化ヲナシテ討テ奇兵ト云ニ主命ヲ受  
ル心ヲ正トシ將ノ自ラ致スル心ヲ奇ト  
スト是ハ奇ノ大典尺ヲ云テトハハ此

度イツレノ國ヲ討ヘシト主將ノ命仰  
任ヲ蒙リテ大將トナリ士卒ヲヒキ  
テ登向ヲナス是正ニ戰場ニ至リテハ  
其大將内外ノ權ヲ取テ主ノ命ヲモ不  
用臨機應變ノ全ク勝ヲ得ル心ノ道理  
是奇ノ敵我俾奇正ハ如是ト云定リク  
ル体ナキ更ヲ云ニ右ノ通正ヲ以合奇  
ヲ以勝ニトスルニ敵我ノ正ヲ正ト見  
奇ヲ奇ト見ル寸ハ我ノ正ヲ奇トノ勝



之款或乃正ヲ奇ト見奇ヲ正ト見ル寸  
ハ我ハ則正ヲ正トシ奇ヲ奇トメ勝之  
正ノ中ニ奇正アリ奇ノ中ニ奇正アリ  
正変ノ奇トナリ奇変ノ正トナル生々  
トシテ止事ナクハ正ヲ以合奇  
ヲ以勝寸ニ奇款ト合寸ハ奇則正ト成  
正又奇トナル之故ニ款アリト云款  
ニ依テ取ニ臨ク変化スレハ正ヲ教  
テ奇ヲ不教ト正ハ正道ノ兵法ニ常ニ

士卒ニ武藝ヲ習ハシ操練ヲナシ座作  
進退分合ノ法ヲ能熟ナシメ置是正ヲ  
教ル之奇ハ凡ソリ定リタル故ナク  
レハ第テ如是ト云教ハナラレ又ニ然  
レハ右ノ通常ニ孰法ヲ習シ道ヲ緞練  
セシメテ機ニ臨ニテ如何マウトモ應  
変ノ自申ニナル如ク教ル事肝要ニ工  
卒不熟ニテ道正ニカラレハ應變ハ  
其慢ハナレ



兵汰日三軍之衆可使必受敵而無敗者奇  
正是也  
三軍ハ三萬七千五百人大國ノ諸候ノ  
人數高ハスヘテ大軍ノ一ヲ云ハ衆ハ  
多勢ハ必ノ字ハ早ノ字ノ誤ト云リマ  
トククト見ルハシ備數ノ多ク大軍ノ  
備毎ニ敵ヲ引諸ヲ戰ヲナシテ敗軍ス  
ル一ノナキ仕形ハ所謂奇正ノ法ハ正  
ニアルハ

虚實之事

虚ハ空虚ニシテ外ク輪ハカリ有テ内  
ニハ何モナキ事ニ備ノ申断不意アリ  
テ可討場ノアルハ云實ハ内ノ実入  
タシカニテ少シノアキハモナキ事ニ  
テ備ノ法割ヨク整ヒテ透間ナリ申断  
ハナクキヘキ圖ノミヘヌヲ云ハ此虚実  
ハナツリ替リアル者ハ實モ変ノ虚ト  
ナリ虚モ変ノ實トナリ奇正ノ勢ニ



一  
人ヲ致ラ人ニ致レス人ニ致シテ我ニ致  
十ク能實ニ能虚ニ来銳ヲ避テ悟帰ヲ討  
虚實我ニアリ 懸待表裏 待懸々待  
人ヲ致シテ人ニ致サレス是虚実ノ神  
理ニ致ハ全ラシムル人意ニテ呼寄ヨ  
引付ル事ノ人トハ敵ヲ云イマ十カラ  
敵ノ進ニ来ル如クスルヲ人ヲ致ト云

人ニ致サレストハ我ハ敵ニ引付ラレ  
ス自申ニテ十ラヌ一ニ畢竟カ敵ヲ懸ラ  
セテヨキオハカ、ラセ引付テ勝或ハ  
引也右ヘ十リトモ左ヘ十リトモイカ  
マウニモ我カ自由ニ任フ事ノカソア  
レハ虚ナル敵ヲモ心ノ終ニ虚ニナス  
ユヘ我ハイツモ實ニメ敵ハイツモ虚  
ニナル人ニ致シテ我ニ致サレト是  
虚実ノ業ノ人ニ致スルハ敵ニ我カ傷



リ女形ヲ顯シ見スルヲ云ニ我軍悟リ  
ヲ顯ハレテ敵ヨリウカ、口謀ル様ニ  
スル事ニタトヘハ伏ヲ實ニハ置スニ  
テ置タル如クミセ或ハ多勢ニ見セツ  
小勢ニミセツ又ハ強ク見セ弱ク見ス  
ル類スヘテ敵ヨリ我如何マウニコソ  
働ク下ウカ、口ハカラル様ニミセ  
カケテ誠ニハソノ如クセリ事ヲ云  
是人ヲ致スニ我ニ形ナクハ實ニハ敵

ニ伺ヒ謀ラズ敵ノ我ニナキ事ヲ云  
我勝ノ術ハイカマウニコソト云信實  
ノ慮ヲハ敵ニ知レヌ様ニスル事ヲ云  
是人ニ致サレサルニ能實ニ能虚ニト  
是ハ虚實ノ至極ニ我ニ敵ナキ処ヲ能  
實ニススヘシ我至極實ナルコトハ敵ヨリ  
ウカコウヘキ敵ハナキニ怒レハ敵ヲ  
ノツカラ我カ石ヨリ来ル左ヨリ寄ル  
カシニコニハ伏アリナト、思フ様ニ我



二十キ敵ヲ見付テ其勸專ヲテテス虚  
ノ敵アテタルハ是ヲ虚ト云人ニ敵ス  
ル處ニ此立敵ノ理ニヨク通達レサレ  
ハ人ニ敵スル事モテテナルニ来銃ヲ  
リケテ悟帰ヲ討ト銃ハトカリテスルト  
キニ来ル盛ニナルニテハ避テ敵ハス  
敵ノ氣惰リ怠居生ノ休息シテキ意ニ  
テリタルニテヲウツニ是則敵ノ實ヲ避  
テ虚ヲ討ニ虚実ヲテアリト右ノ通我

カ取討ニテヨリテ利害ヲ以テ敵ヲ致ス  
ホハ實モ虚ニ成虚モ實ニナル故我ニ  
アリト云ニ懸待表裏ハ前後左右ヲ云  
何レモ待懸々待ト敵ヲ待内ニハカ、  
ル心ヲ兼カ、ル取ニハ待マ、口ヲ兼  
ヘキニス入テ此心得ニスルオハ我ハ  
イソモ實ニノ虚ナリ敵ハ變ノ虚ニ成  
ナリ

兵法曰兵之所加以石投卵者虚實是也



其味方々軍兵ナリカク此世當石ヲ玉子  
ハ投付ル口如何ノ造伍モ十ノ敵ヲ少  
クシク此虚実ニアル人如実ヲ避  
虚ヲ討トキハ夕マスク勝利ヲ得ルノ  
道ニテ合戦ノ常法ニ

○心 氣力之事

是奇正虚實ノツマニル此其本ノ序段  
ニ心氣ノ事ヲ言ハ教ノ大道理ヲ云コノ  
段ニ信其調々ル上ノ取計ニ養ニ操ニ

一心ヲ治氣ヲ静ルニ致シカヲ養フニ戦ノ  
日ヲ知時ヲ知場ヲ知守体時アラシム

心ヲ治ハ氣ノマナニ動ル又マウニス  
ルニ大勢ヲ卒ニテ大敵ト對陣スルニ  
勝負ノ道利害ノ變ノ千變万化ナルニ  
其心治ラヌミタレ動クナハ應用自在  
ヲ得ル事ナラズ故ニ心ヲ治メ大山ノ  
動カサル如クハ大将ノ心明カナレ  
ハ師方モヨク治ルニ氣ヲ静カニスル



ハ氣ハ心ニツルニモナレトモ又敗  
トノ先タツ事アリ故ニ靜カニメテキ  
クナサタ、スマウニスルニカヲ養フ  
ハ勢カノツカレ又様ニスル事ニ此三  
ツ治リ調ハサレハ自ラ敵ニ至サレ其  
心氣ヲ養ハレテ右ニイウ奇正虚實モ  
其應用ヲナス事能ハス然レハ能治ノ  
養ニテ專ラナラシムル事所要ニコノ  
三ツトノノフ敗ハ戰ノ日モ敗モ場モニ

ハ是人ヲ致セハ之定ニ敵ノ變化敗  
ニ臨シテ盡テルイカ、又其戰ノ日  
敗場處ニラレハキトレハ我心氣能治  
リテ勤キ疑フ事ナク明ナル敗ハ虚實  
ノ應變敵ヲ自由ニ致ス故ニイツ何日  
何敗ニイツレノ處ニテ戰フト云事モ  
兼テ知ラレ、是ヲシルナ守休敗  
アラシムト所要ニヨク守ルハキ敗ハ  
ヨク守リ又休スハキ敗ハ兵ヲ休息ナ



可シハ故ニイヨク心氣モ治リカモ勞  
スル事ナクイツモマスラナル故ニ  
人ニ致サル、事ハナク是養フノ道理

○心勝之事

勝利ヲ得ルノ至極ヲ云

一 易キニ勝取ナリシテ勝義ヲ先ニシテ偽  
リヲ正ス秋毫ヲアケ日月ヲ見雷霆ヲ聞  
安ニ勝ハ無理ナル戦ヲナサズ敵ニ勝

ヘキ圖ノアルヲ見テ其處ニ勝ヲ云故  
三手間ヲトラス安ニト勝ニ我勢力ヲ  
以敵ニ可勝圖ノ見ハ又ニ精ヲ出シ骨  
ヲ折テ戦フ敗ハタトハ勝テモ味方ヲ  
モ大ニ損シ十分ノ勝ニハ非ス如此ハ  
勝難キニ勝ト云モノニテ其勝長久ナ  
ラヌハ敵ナクノ勝ト是前ノ虚實人々  
意ニ勝ヘキ圖ノ敵ニアル處ヲ未萌ニ  
見付ソノ敵ニ頭レヌ先ニ伐テ取テ云



故ニ何ノ午間ヲモ不入心勝利ヲ得ル  
義ヲ先ニシテ偽リヲ正ス下常ニ徳  
義ヲ専ラトシテ少モ邪欲ノ爲不義ノ  
兵ヲ発サス偽リヲ正シ不義無道ヲ正  
ス者アレハ天下万民ノ爲ニ是ヲ正シ  
征伐ヲナス是乃必勝ヲ得ルノ道ニ是  
ヲタトヘテイハ秋毫ヲアケ日月ヲ  
見雷霆ヲ聞如ク夕マラス夕勝利ヲ得ラ  
ルノ秋毫ハ長キ毛ニ鳥獸ノ毛隻生

カハリ秋生楸フユヘ秋ニ至テハ長キ  
毛ニコノ秋毫ヲ拳ルニハカヲ用ルニ  
ハ及ハス赤子モアクルニ日月ノ光ハ  
盲人ニアラサレハイカナル者モ之ル  
ニイカツ千ノ喙ハ夕メクハ誰モ聞ニ

○離勝之事

一 兵常ニ至ラサレハ楯必勝ノ病アリ  
必勝利ヲ得ニト思ハソレニ十ツミ  
テ兵法ノ源ニ至ル事能ハサルニ故ニ



其處ヲ離レテ其道ニ從テソノ理ヲ尽  
スヘキニ兵恣ニ通達スレハヲノツカ  
ラ勝ハ我ニアルニ夕ニ勝ヲ好ムハ  
前廉ノ事ニ是兵恣ノ至ラサルノ病也  
コノ病ヲ離レテ其道ヲ極ル如ク執行  
ヲ盡ス事最所要也

此は、兵の道に於て、勝を好むは、  
前廉の事、是兵恣の至らざるの病也。  
この病を離れて、其道を極る如く執行  
を盡す事、最所要也。







